

11月九州の鉱工業生産指数

九州経済産業局が十一「昇傾向」と基調判断を上方修正した。九州の昨年十月の鉱工業生産指数(二〇〇〇年=一〇〇、季節調整値)は、前月に比べ一・五%上昇の一・六・〇で四カ月連続プラス。前年同月に比べても一・三%の上昇で、九カ月のプラスだった。同経産局は「生産は上

工業は今後も安定して上昇する勢い。低下は情報通信機械工業など。松井哲夫九州経産局長は「原油価格、為替相場の変動に注意が必要だが、当面の生産の先行きは底堅い」とみている。

大阪の会社が上場
福岡証券取引所は十一

経済

アは、普通のヒンジ式のドアに比べ、閉めたときの衝撃が大きいことが国民生活センターの商品テストで十日分かった。同センターは「手などを挟むと骨折など重大事故になる可能性がある」として、日、ベンチャー企業向け(大阪府松原市)の新規上市場(Qボード)に不動産市場を承認したと発表し、ハウスフリーダムた。

分には理解が動しない例も同センターの安全性を高日本自動車工業望するところ。閉めるとき、十分注意「と話し

長崎のベンチャー企業

クオード・インテック

新サービスをスタート

コンピュータシステム開発などを手掛けるクオード・インテック(長崎市長町、吉田昌樹社長)はこのほど、学習塾などに通う子どもたちの登下校情報を、保護者の携帯電話やパソコンなどにメール配信するサービス「アット・シーナビ」を開始した。情報配信で、子どもたちの安全確認や防犯対策につなげていく。

「アット・シーナビ」の対象は学習塾が中心。子ども

塾の業務効率化も

もを通わせている保護者らに安心感を提供し、学習塾に付加価値を高めてもらうのが狙い。既に県内の複数の塾が導入し好評という。

バーコードを印刷したオリジナルカードを、塾の登下校時にバーコードリーダーにかざすと、携帯電話やパソコンに「塾に着いた」「塾を出た」との情報が配信される。臨時休校など情

登下校情報

保護者の携帯電話にメール配信



登下校情報のメール配信で子どもたちの安全・安心を支援する「アット・シーナビ」

報の一斉連絡にも活用できるほか、登下校をタイムカードで管理していた塾は、データベースを電子データとして加工でき、業務効率化にもつながるといふ。

サービスの料金は、バーコードリーダーとパソコン一式を提供し、一塾当たり月額二万円。インターネット経由でソフトを利用するASP(アプリケーション・サービス・プロバイダ)方式のため、パソコンがあればいつでも開始できる。子どもが使用するオリジナル会員登録の発行費用は別途負担となる。

吉田社長は「保護者に安心を提供できるほか、学習塾にも業務効率化につなげてほしい」と話している。

長崎市 大崎 十二回目 座があり



長崎市 大崎 十二回目 座があり